

複合気象センサー CVS-WXT530 シリーズ

概要

気象観測の基本となる6つの要素を1つにまとめました。また、目的に応じて、6種類のパターンがあります。コンパクトで軽量の一体型センサーで風向、風速、温度、湿度、気圧、降水が測定可能です。可動部分がありませんので機械的トラブルはありません。メンテナンス作業は必要に応じて行う清掃だけです。6種類の組合せがあるので用途に応じた経済的なセンサーを選択できます。

特徴

- 風、温度、湿度、気圧、降水センサーを1体化
- 機能別に6種類のパターン
- 外部入力・出力もあり
- 省メンテナンス、低消費電力
- デジタル出力(RS232/485)
- 簡単設置(30mmφポールに差し込み)
- 本体ハウジング IP65



CVS-WXT530

計測

センサーに記録部はないので、デジタルのSDI出力を利用して、C-CR800やC-CR1000に記録します。これらのロガーを利用することにより、野外で無電源長期観測が可能になります。出力用ポートと、メンテナンス用ポートがあり、メンテナンス用ポートで各種出力設定が可能です。

種類とオプション

測定要素	WXT536	WXT535	WXT534	WXT533	WXT532	WXT531
雨	○	○		○		○
風向風速	○			○	○	
気圧、気温、湿度	○	○	○			

概略仕様

	測定範囲	測定原理	備考
風速	0~60m/s	超音波方式	積雪時は計測不可。積雪地ではヒータオプションを選択してください
風向	0~360°		
温度	-52~+60℃	静電容量方式	温度センサーは高温での精度低い。 センサーユニット(温度・湿度・気圧)は2年に1回交換を推奨
湿度	0~100%RH		
気圧	600~1100hPa		
降水強度	0~200mm/h	雨粒衝撃を電圧感知	雪は計測不可。瞬間雨量強度を計測可能。 降水以外の衝撃(例:砂)も降水と判断する可能性あり
動作温度	-52~+60℃	出力	デジタル
供給電源	6~24VDC(ヒータなし) 12~24VDC(ヒータ付)		
消費電力	(12VDCにおいて)3mA(標準出力インターバル時)		

一般仕様

自己診断	電源のセルフチェックパラメーター出力	起動時間	<5秒(電源投入から最初の有効出力まで)		
デジタル出力	RS-232, RS-485, RS-422, SDI-12	防水性能	ハウジング:IP65 取付キット付のハウジング:IP66		
通信プロトコル	SDI-12v1.3, ASCII(自動、ポーリング) NEMA-0183v3.0(with query option)				
動作温度範囲	-52~+60℃	保管温度範囲	-60~+70℃	動作湿度範囲	0~100%RH
材質/質量	本体:ポリカーボネート(グラスファイバー入り) 降水感知プレート:ステンレス / 650g				
ケーブル	端子台式が標準。コネクタ式をオプション選択可能。コネクタ付ケーブル 2m, 10m(オプション)				
設定	専用メンテナンス用ポートにてハイパーターミナル経由、設定可能(通信ケーブル別途) 専用通信ソフトもあり(オプション)				
取付ポール径	30mmφ	その他オプション	取付用アダプター(北を保持) ヒータ		

電源仕様

供給電源	6~24VDC				
消費電力	最小(12VDCにおいて)	0.1mA@12VDC(SDI-12 standby)			
	最大(30VDCにおいて)	15mA@12VDC(全項目の連続出力時)			
	標準(12VDCにおいて)	3mA@12VDC(既定インターバル時)			
ヒータ(オプション)用電源	12-24VDC(-10~+30%) 0.8A@12VDC, 0.4A@24VDC				
	12-17VAC(-10~+30%) 1.1A@12VACrms, 0.8A@17VACrms				